

水陸萬頃

第21号

奥州農業改良普及センター TEL: 0197-35-6741 FAX: 0197-35-6303
 いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



※水陸萬頃とは

「続日本書記」によると、胆江地域は「水と土地が豊かなところ＝水陸萬頃」と記されている。

新年度にあたって 所長メッセージ

今年度より、八幡平農業改良普及センターから転勤して参りました田野島義人と申します。奥州地域での勤務は、初めてとなりますが、関係機関・団体の皆さんと連携を密にし、農業者の皆さんの所得向上に貢献できるよう活動して参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、昨年の気象は、一昨年に引き続き2年連続の猛暑となり、奥州市江刺(アメダスポイント)の7月の平均気温25.3℃(平年比+2.5℃)、8月27.4℃(平年比+3.5℃)、9月22.6℃(平年比+2.8℃)と平年を大幅に上回る状況となりました。全国的な猛暑のため、岩手県を含めた国内の夏期野菜の市場出荷量が減少する傾向にあったことに加え、大家畜では繁殖成績の悪化や乳量低下など厳しい年となりました。

近年の全国的な猛暑の影響から、熱中症による全国の農作業中の死亡事故の割合は、平成25年から29年までの5年間は、5.4%から8.0%で推移していましたが、平成30年以降、10%を超えるようになり、直近の令和5年には15.7%(37名)に達しております。皆様におかれましては、依然として死亡事故の多い乗用トラクターによる転倒・転落に注意(ほ場の出入口、傾斜のある場所)していただきますとともに、作業中の熱中症の対策として、これまで以上に作業前・作業中の小まめな水分補給や休息、熱中症予防グッズの活用等による対策をお願いします。

また、農業を取り巻く状況は、円安やウクライナ情勢を背景に燃料や飼料、肥料の価格の高騰が続いており、飼料価格(総合)は、令和2年を100とした場合、令和6年平均で141、肥料価格(総合)は137となっており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、普及センターでは、関係機関・団体の方々と連携した集落営農法人等の経営安定に向けた研修会や就農相談会の開催、労働力軽減や生産性向上につながるスマート農業の活用推進、りんごの産地維持に向けた園地継承計画の策定支援、畜産分野では、外部支援組織(キャトルセンター、コントラクター、公共牧場)の活動支援と夏期高温に対応した自給粗飼料の栽培実証や繁殖成績向上に向けた情報発信等を行うこととしております。

結びに、今回の人事異動により新たに加わった5名を含めた19名の職員により、現地への直接的な御支援を基本に奥州市、金ヶ崎町の農業者の皆様のお役に立てるよう活動して参りますので、引き続き、よろしくお願いいたします。

令和7年度活動体制

【所長(1)、課長(3)、農業普及員(12)、技師(2)、主査(1)、計19名】

所長 田野島 義人

経営指導課

技術主幹兼経営指導課長 小綿 寿志

課員 (7名)

<農業経営グループ>

上席農業普及員	早坂 考広	(総括・法人・経営体育成)
主任農業普及員	田口 礼人	(経営体育成・果樹・GAP)
農業普及員	小向 昌啓	(経営改善・野菜・経営体育成・スマ農)
技師	齋藤 菜々子	(経営体育成・農福連携・野菜)

<畜産経営グループ>

上席農業普及員	多田 浩美	(総括・畜産・経営体育成)
農業普及員	姉帯 咲桜	(畜産・酪農・外部支援組織・経営体育成)
農業普及員	濱野 梢	(畜産・肉用牛・飼料作物・経営体育成)

産地育成課

産地育成課長 外館 光一

課員 (4名)

上席農業普及員	中野 央子	(総括・水稻・畑作)
上席農業普及員	山口 恵子	(土地利用型作物・花き・農業GX)
主任農業普及員	皆川 歌織	(野菜・野菜総括)
農業普及員	米田 莉子	(果樹・情報)

地域指導課

地域指導課長 横田 紀雄

課員 (4名)

上席農業普及員	遠藤 和歌子	(総括・集落営農・法人化・地域計画)
主査	阿部 優香	(庶務・農業遺産)
主任農業普及員	菅原 豊司	(新規就農)
技師	岩間 成美	(食の匠・青年組織・野菜)

転入者の御紹介



たのしま よしと
田野島 義人
所長

<前任地>
八幡平農業改良
普及センター



よこた のりお
横田 紀雄
地域指導課長

<前任地>
岩手県農業
研究センター



ただ ひろみ
多田 浩美

上席農業普及員
担当:畜産
<前任地>
大船渡農業改良
普及センター



はやさか たかひろ
早坂 考広
上席農業普及員
担当:経営

<前任地>
盛岡広域振興局
農政部



たぐち よしひと
田口 礼人
主任農業普及員
担当:果樹

<前任地>
盛岡農業改良
普及センター

職員一同

／よろしくお願ひします！／



転出者の御紹介

氏名(職)	転出先
柏原 一成(所長)	農産園芸課
小田中 温美(技術主幹兼地域指導課長)	岩手県立農業大学校
阿部 洋(上席農業普及員)	中部農業改良普及センター
星 伸枝(上席農業普及員)	岩手県立農業大学校
千葉 彩(上席農業普及員)	中部農業改良普及センター

大変お世話になりました



御意見番！指導士の声

農業農村農業士
あおぬま じゅんいち
青沼 純一さん



奥州市水沢で、ひとめぼれの採種ほ場とハウスピーマン栽培に取り組んでいます。また、岩手県農業農村指導士協会の会長として2期目を迎え、地域農業のさらなる発展を目指し、引き続き活動に尽力していきたく思います。

今後の方針としては、農業農村指導士や青年農業士の認知度向上を図り、農業全般で重要な役割を担う存在として果たせるよう周知を進めたいと考えています。また、農業農村指導士・青年農業士の仲間を増やし、活気ある活動を展開していきたいと考えています。さらに、新規就農者へ積極的にノウハウを伝授し、彼らの新しい発想を生かしながら、持続可能な農業の実現を支援していきたく思います。

加えて、近年、県内におけるピーマンの夏秋産地での生産は、目を見張る成長を遂げています。私個人としては、県全域のピーマン生産に関する協議会を結成し、喫緊の課題や対策について情報を共有しながら、「ピーマンの夏秋産地といえば岩手県」と広く認知される産地に成長出来ればと思っています。

新規就農者の支援を行っています



胆江地方農林業振興協議会では、胆江地方の主要品目で就農を希望する新規就農者について就農準備から就農までの総合的な支援を行っています（事務局 奥州農業改良普及センター）。

現在就農を検討をしている方や、情報収集をしたい方に向けての活動の一部をご紹介します。詳しく知りたい方はお問い合わせください。

①就農相談窓口の日

内容 就農に向けた相談や情報収集したい方に対して、関係機関の担当者をご相談に対応します。

時期 毎月第2木曜日（今年度8月は第1木曜日）

- ・事前の申し込みが必要になります。
- ・オンライン相談にも対応しています。



②新規就農事例・農作業体験研修

内容 先輩農家のほ場等にお伺いし、農作業を体験します。

時期 令和7年度は4回開催（ピーマン、トマト、きゅうり）



◇日程、時間等詳細は別途ホームページ等に掲載します。



農福連携に取り組んでみませんか？



農福連携とは農業と福祉が連携し、障がい者などが適性に合った農作業に従事することにより農業にとっては労働力の確保、福祉にとっては障がい者の就労促進等、双方にとって良い取組です。管内でも取り組んでいる生産者の方もいます。興味のある方は普及センターまでご連絡下さい。

農作業安全月間が始まります

4月15日から6月15日まで春の農作業安全月間です

岩手県農作業安全対策協議会の本年度農作業安全スローガン

忘れずに！点検・確認・安全管理 無事故で終える収穫作業

ほ場周辺の危険か所の確認・改善、シートベルトとヘルメットの着用などを徹底するほか、野焼きが原因の林野火災も発生していることから併せてご注意ください。